

「平成最後の・・・。」

皆様、明けましておめでとうございます。

「平成」の時代が終わるということが分かっている、特別な年が明けました。

今までは、あの時が「昭和最後の・・・」だったと、

起こった出来事を後から振り返るものでした。

それが、天皇陛下の退位がお決まりになってから、

すべての言葉に「平成最後の・・・。」という冠の言葉がつけられるようになりました。

平成最後の紅白歌合戦、平成最後の箱根駅伝というように。

私は、昭和時代を 35 年、平成時代を 30 年生きてきました。

昭和時代は、私がこども期だったためか、時間がゆっくりと流れ、

たくさんの子どもたちで過ごす時間が多かったという印象があります。

家庭の中は、6 畳一間に 5 人が生活する、貧しい時代でもありました。

親は、子どもになど目もくれず、懸命に働いていた時代だったように思います。

私が、働き盛りの平成時代は、日々社会の大きな変革、技術革新の続いた時代でした。

仕事上の大きな変化は、文書を「手書き」から、「ワープロ入力」へ変えたときでした。

そこから、パソコンのソフトへ切り替え、文書が他者と共有できるという経験も新鮮でした。

家庭の中でも、洗濯機、炊飯器、掃除機、そして何よりも電話機が大きく進歩しました。

腕時計で、電話をしたり、メールを打ったりする時代になったのです。

新しい技術により、社会は確実に変化してきました。

人々の働き方を変え、生き方さえも変えてきました。

経済的な豊かさよりも、心の豊かさ、自分の生き方を探している時代だったのではないかと
思います。

これから先の 30 年も、もっと凄まじい勢いで技術は進歩していくのでしょう。

それに伴って、人の考え方もさらに変わっていくのでしょう。

今年の 5 月から、新元号による新たな時代が始まります。

私が、新しい時代に望むことは、ただ一つだけ。

孫やひ孫たちが戦争のない、平和な時代を過ごせるようにということです。

私も、生きている限り「平和な時代」を創るように努力したいと思います。

「平成が最後の平和な時代」だったと言われないように・・・。（M.Y）